

公益社団法人群馬県医師会

vol. 6

保育サポーターバンク通信



医師であり続けること

群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・教育センター 講師

羽鳥麗子

誰もが経験したことのないコロナ禍での生活となり、1年が過ぎようとしています。現在の勤務先で、間近に発熱者や感染疑いの患者さんの診療をする機会はありませんが、小児科医として診療する短い時間にも、学校に楽しく通えているか、友達と元気に遊べているか、おいしくご飯は食べられるか、夜はよく眠れるのか…今まで普通に過ごしていた何気ない日常の中に、子どもたちが、不安や心配を抱えていないかどうか気になってしまいます。それは、高校生と小学生の4人の子の母である私が、医師として子どもたちのつらい症状を治すこと以上に、ご家族との生活や学校での活動の大切さを実感する1年であったからかもしれません。

大病院でも、産休・育休から職場復帰を希望する女性医師との面談をする際、おそらく育児しながら働く全ての女性が経験する、なにより大事な我が子を他者に預ける、という覚悟以上に、もはやどこでも感染する可能性があるCOVID-19を気にしながら、我が子を集団保育の場に出すことのための言い葉にせずとも感じます。

多くの人が目に見えない不安を抱えながら生活する中で、私自身も育児しながら勤務を続けていると、時にこの先の勤務が不安になったり、十分に成果が出せなかったことに失望したり、とても人を支援できる立場ではないと思うことも少なくありません。仕事も、育児も、家族がうまくまわらぬのも全て目いっぱいです。それでも変わらずに必要とされている仲間がいることや信頼を寄せられている患者さんが待っていることは、医師として働き続けていくことのやりがいや支えになってくれています。

先輩医師も、今、活躍中の医師も、皆、悩みながら諦めてしまいそうになりながら医師を続けているのだと思います。まだまだ女性が活躍できる現場は沢山ありますよね。皆さんと一緒に、細く長く歩き続けていきたいと思っています。

I N F O R M A T I O N

■活動報告

| 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|---------------|--------------|---|
| 2020年5月17日(日) | 群馬県医師会 セミナー室 | 第18回保育サポーター研修会 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止) |
| 2020年9月13日(日) | 群馬県医師会 大ホール | 第19回保育サポーター研修会 (新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施) |

■助成制度の紹介

1. 子育て支援助成制度
利用医師に利用料金の一部を助成します。
2. チャイルド(ジュニア)シートの貸与
保育サポーターにチャイルド(ジュニア)シートを貸与します。
3. インフルエンザ予防接種料金の助成
保育サポーターにインフルエンザ予防接種料金の一部を助成します。
4. 緊急時のタクシー料金助成
サポート中に緊急でタクシーを利用した場合に料金を助成します。

【保育サポーターバンク登録人数】

(2021年3月末日現在)

医師/202名 保育サポーター/232名

【保育サポーターバンク利用状況】

(2021年1月)

利用医師/55人 総利用時間/1493時間

利用医師の声



私が保育サポーターバンクのお世話になり始めたのは長男がちょうど1歳の頃だったと思います。その長男ももう6歳、かれこれ5年ぐらのお世話になっていることになります。今まで5人のサポーターさんにお世話になりました。

皆さんとても良い方で、最初は子どもを預けることに緊張していた私たちも安心して子どもを預けられるようになっていきます。

サポーターさんとの思い出は色々あります。ご自宅の畑で一緒に野菜を採らせていただいたこと、サポーターさんのお兄さんが使っていた大切にしていたものをうちの子ども達にと頂いたこと、サポーターさんのご自宅のおじいさんおばあさん、お父さんやお姉さんにかわいがっていただいたこと。群馬のおばあちゃんみたいになってほしいと思ったことさえありました。

保育サポーターバンクのサポーターさん達は、活動的な人が多い印象です。そのためいろいろなお仕事やお世話を頼まれて、時にはずっとサポートしていただくのが難しいこともありました。でもその時々サポーターさんが子ども達をととてもかわいがってくれていることが感じられて、本当に良い出会いをさせていただいています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

(S・Sさん)

夫の実家が高崎市であったので群馬県高崎市に5年前に落下傘開業しました。夫の両親は市内にお住まいですが当時勤務されており子どもの保育をお願いできる環境ではなかったため、すべて夫婦内で抱え込むつもりでした。

3人の子育てをしながら他県で勤務医をして日帰り打ち合わせ。開業前後1年近く睡眠時間が3時間程度の日々が続いたと思います。こちらに引っ越してきてからはそれぞれ新しい小学校、幼稚園、保育園に行くわけで、お迎も3方向に向かわなければなりません。3女に関しては、保育園に第3希望でやっと通りましたが、なぜ通らないのか話を市役所に伺ったところ、私のような働き方をする女性は他にいないため、私が提出した勤務時間については信じがたい部分があり、保育園を認めなかったと言われました。激怒を通り越した違和感を覚え埋められない溝を感じ、理解を求め気になりませんでした。夫とタッグを組んで手分けして外来と子育てを両立していても手が足りないのは明らかで、途方に暮れていたところ義母にこの保育サポート事業を勧められました。我々の状況に共感してもらえ人に出会い助けていただいたことに深く感謝しております。開業が軌道に乗ったのもサポートいただいているからです。本当にありがとうございます。

(T・Tさん)

サポーターさんからの声



私が保育サポーターを始めたのは、10年前です。初孫が誕生したものの娘の住まいは東京で手を貸したくても離れていく為そうも行かず、高崎の私の周りにも親が近くにいないで困っている人がいる筈と思い高崎市の保育サポーターになったのが始まりでした。その後、縁あって群馬県医師会保育サポーターとしてお手伝いさせて頂いています。

目線は、孫のよう。お迎えのパパ、ママには我が子を迎えるような気持ちです。

時には二人目出産のサポートあり、病児あり。一喜一憂しながら子ども達の成長に目を細めております。

私の担当している子ども達は、皆Wサポートとして、もう1人のサポーターさんと共有しているものですから、先日私の急用時快く対応して頂いてとても助かりました。

コロナ禍の昨今、医療従事者の先生方に、間接的ではありますが、すきま時間でお役に立てることを嬉しく思い、充実した日々です。

(M・Kさん)



感染症対策

サポートをする際の感染症対策について

医学まめ知識

群馬県医師会理事 今泉友一

- サポート開始前には検温をし、「発熱」がないことを確認し健康状態を確認しましょう。
- 少しでも体調に不安がある場合は、お互い無理をせずサポートは控えてください。
- サポート中は定期的な換気をお願いします(目安：1時間に2回以上、数分間窓を開ける)

「手洗い」は、「マスクと咳エチケット」とともに、新型コロナウイルス感染症予防対策の基本となります。ウイルスが体内に侵入したり、周囲に広げるのを防ぎます。またアルコール消毒液も予防に効果的です。

手洗いのタイミング

- 家に帰った時
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
- ご飯を食べる前後
- 病気の人のケアをした時
- 外出時にものに触った時 など

保育サポーター募集中

保育サポーターバンクでは、県内子育て医師をサポートして下さる保育サポーターを募集しております。お知り合いの方へ保育サポーターバンクを紹介していただけますと大変ありがたいです。子育て医師が離職せず働き続けることで、医師不足解消を目指します。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

詳細はホームページをご覧ください。か、下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

群馬県医師会 保育サポーターバンク

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町1-7-4
TEL.080-1115-4176(相談員直通)月~金曜日(祝日を除く)10:00~16:00
FAX.027-231-7667(群馬県医師会事務局)
E-mail: hoiku@mail.gunma.med.or.jp

お問い合わせ

ホームページ <http://www.gunma.med.or.jp/hoiku/>

群馬県医師会保育サポーターバンク

検索